



## 1 / 26 1年 国語「ふくろうのそめものやさん」



### みんなで作る“語り”の学び

1年生は、国語の学習で「ふくろうのそめものやさん」を題材に、物語をみんなで分担して“語る”活動に取り組んでいます。

授業のはじめに担任から、ただ文字を追って「読む」とことと、相手に思いを届けるように「語る」とことの違いについて説明がありました。それを受けて、子どもたちは、声の大きさ、話す速さ、間の取り方など、自分の語りを工夫しながら練習を重ねています。

練習では、仲間の語りを聴く時間も大切にしています。「友達の方がゆっくりで聞きやすい」、「もっとはっきり言った方が伝わるかも」など、互いのよさや気付きを通して、自分の語り方を見直していく姿が見られました。聞くことと語ることの両方を大切にしながら、ぐんと成長している1年生です。

この取り組みは、今後の「学び発表会」につながっていくものです。本番に向けて、子どもたちは「もっと上手に語りたい!」と意欲いっぱい練習に励んでいます。どの子も、自分の役割に誇りをもって取り組んでいます。

## 1 / 26 5年 国語「米作りへの思いを込めて」

### 販売チラシづくり

5年生は、これまで総合的な学習の時間で全校を主導する立場で米作りを進めてきました。その集大成として、学び発表会では収穫したお米の販売を行う予定です。国語の授業では、その販売に向けてタブレットを使ったチラシづくりに挑戦しました。

「どうしたら買ってもらえるかな?」「自分たちが育てたお米のおいしさを伝えたい!」と、一人一人が思いを込めてレイアウトやキャッチコピーを工夫しながら制作に取り組んでいました。写真の選び方、文字の大きさ、色の使い方など、細かな部分にも気を配りながら、伝わるチラシとはどんなものかを考える姿がたくさん見られました。

自分たちで育てたお米への自信と誇り、そして「たくさんの人に届けたい」という気持ちがあふれるチラシが完成しつつあります。学び発表会でのお披露目が楽しみです。

